

■ 景観計画区域内行為届出書添付資料 景観配慮説明書（石巻山眺望保全区域の基準用）

○ 石巻山眺望保全区域の基準への対応

考え方	地域らしい景観づくりのポイント	具体的な景観配慮
<p>① 本市の象徴である石巻山の眺望の確保</p>	<p>眺望地点から、石巻山山体への見通しを確保できるよう努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 敷地は、石巻山と眺望地点を結ぶ見通し線から離れた場所にあるが、建築物の高さをできるだけ抑え、石巻山の眺めへの影響が少なくなるようにした。
	<p>石巻山と周辺の山並みが形成するスカイラインを大きく遮蔽しない位置、規模、高さとするよう努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 眺望地点からの眺めにおいて、建築物は稜線を超える高さではないが、できるだけ影響が少なくなるよう、分棟化等により、建築物の存在感を低減させた。
<p>② 石巻山と周辺の山並みに調和する景観の形成</p>	<p>勾配屋根にするなど、背景の山並みと調和する形態、意匠とするよう努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 屋根は、稜線に調和する角度の切妻屋根とした。また、外観に凹凸を設けたり、素材を使い分けたりすることで、壁面に陰影や変化を生み出し、背景の山並みに調和させた。
	<p>分棟化や壁面の分節化などにより、長大な壁面や単調な壁面が生じないように努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 比較的大きな壁面は、仕上げ材や色彩の使い分けで、単調にならないように工夫し、背景や周辺の景観に馴染むようにした。
	<p>背景となる山林と調和する、落ち着いた色彩とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鋼板屋根の色彩は、7.5YR2/1とした。また、外壁の塗装の基調色は10YR7/2とし、アソートカラーとして7.5YR5/2を低層から中層部まで配色し、自然や周辺のまち並みに調和させた。
	<p>屋上広告物や眺望を損ねる屋外広告物は設置しないよう努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 屋外広告物は、建築物の1階エントランス壁面と敷地出入り口の塀に、施設名を表示するのみとしたため、眺望地点からは見えない。
	<p>背景となる山林と調和するよう、周辺の緑化に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存の高木は保全し、敷地周囲には、自生種の中高木を植栽した。特に、眺望地点に面する側には、建築物の前面に大きめの木を植えるようにした。
	<p>自然や農地の地形に馴染ませ、眺望を損ねる地形の改変がないよう努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 敷地は、市街化区域の平地にあり、眺望を損ねる地形の改変はない。